

## 青山剛昌ふるさと館再整備検討会 次第

日時 令和4年10月25日(火)

午後1時30分～

場所 大栄農村環境改善センター

2階 大会議室

### 1 開 会

### 2 挨拶 青山剛昌ふるさと館再整備検討会会長 蓑 豊

### 3 議 事

(1) サウンディング型市場調査結果報告【資料2-1、2-2】

(2) 事業・運営手法について【資料3】

(3) 敷地活用の検討について【資料4】

(4) 施設機能の優先順位について【資料5-1、5-2】

### 4 その他

◎第3回会議について

【 月 日 ( ) 時～ (場所：大栄農村環境改善センター2階 大会議室)】

### 5 閉 会

## 青山剛昌ふるさと館再整備検討会委員名簿

氏 名	役 職 等	備 考
ふくしま やすひろ 福島 康博	由良宿自治会長会会長	自治会
よしかわ かずや 吉川 加珠弥	一般社団法人北栄町観光協会事務局長	観光協会
おぐら しゅういち 小椋 秀一	北栄町商工会事務長	商工団体
きまだ としみち 澤田 廉路	株式会社地域資源活用研究所代表取締役 元鳥取大学地域学部特命准教授(地域再生担当)	学識経験者
よしむら かずま 吉村 和真	京都精華大学専務理事	学識経験者
みの ゆたか 養 豊	兵庫県立美術館館長 金沢 21 世紀美術館特任館長	展示施設
しみず ゆみこ 清水 裕美子		公募委員
ふじき ともみ 藤木 智美		公募委員
いのうえ しんいちろう 井上 信一郎	北栄マンガ寺子屋倶楽部部長	その他町長が必要と認める者
はまぐち くにひこ 濱口 国彦	由良宿まちづくりの会理事	その他町長が必要と認める者
やまおか のりき 山岡 憲樹	特定非営利活動法人とっとり希望化計画 2 1 理事長	その他町長が必要と認める者
さこ ななほ穂 佐古 菜々穂	地域おこし協力隊	その他町長が必要と認める者

## 《オブザーバー》

所 属	役 職	氏 名
鳥取県まんが王国官房	官房長	岡山 佳文

《事務局》

所 属	役 職	氏 名
北栄町	副町長	岡本 圭司
北栄町観光交流課	課 長	松本 裕実
北栄町観光交流課観光戦略室	室 長	前田 雅美
北栄町観光交流課観光戦略室	主 任	隅 淳子
北栄町観光交流課観光戦略室	主 任	岩垣 歩
北栄町観光交流課観光戦略室	主 事	竹歳美穂子
青山剛昌ふるさと館	館 長	河崎 積
青山剛昌ふるさと館	主 任	遠藤 由美
青山剛昌ふるさと館	主 事	内間 凜

「青山剛昌ふるさと館再整備事業の実施に向けたサウンディング型市場調査」の結果について

### 【調査目的】

民間企業者等を通じて、青山剛昌ふるさと館再整備方式の調整や、権利・運営に対する民間事業者の参画に係る市場性等を確認するほか、管理・運営候補者の検討に向けた条件整理の参考とするため。（※本調査は、事業に参加する事業者を選定するものではありません。）

### 【調査結果】

・エントリー：11社（うち県内：5社 県外：6社）

### 【意見／提案集約】

#### ①本事業への参画意向

⇒強く希望する…7社 興味あり…4社

#### ②導入機能、配置、施設規模等への意見・提案

⇒展示内容・展示、収蔵スペース・バリアフリー・交流スペースの充実や敷地活用の提案

#### ③新施設の魅力向上に関する提案

⇒施設機能・福祉機能の充実、イベント・情報発信の充実

#### ④地域振興策、町民参加を促進する取組みの提案

⇒地域参加型イベントの開催、地元企業や学生、鳥取県・近隣施設との連携

#### ⑤初期投資の意向

⇒整備内容・発注方法・業務範囲による

#### ⑥整備・運営方式への意見・提案

⇒町主体が望ましい、業務の一部を民間活用、企業側にリスクのない民間活用  
（民間活用の場合は著作権管理元や住民の理解と協力が必要）

#### ⑦管理・運営料の目安、管理・運営期間の目安、収益の還元

⇒管理運営料については現状回答不可、管理運営期間は複数年契約が望ましい  
（指定管理や業務委託の場合3～5年、PFI等であれば10～20年程度）

#### ⑧応募しやすい条件

⇒（県内事業者であること…等）参加資格が制限されない、指定管理、実績・企画内容重視

#### ⑨その他

⇒町が主軸となる官民連携、県内の連携強化、著作権理解、現施設の活用、新施設の名称検討

資料 2 - 2

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1 本事業への参画意向	強く希望する	興味あり	興味あり	強く希望する	興味あり	強く希望する	興味あり	強く希望する	強く希望する	強く希望する	強く希望する
2 導入機能、配置、施設規模等への意見・提案	展示・商品内容の充実	敷地活用		効率的に維持管理できる整備	ユニバーサルデザインによる整備	館外施設、交流スペースの充実	展示内容、収蔵スペースの充実	館外施設、交流スペースの充実	展示・収蔵スペース、バリアフリーの充実	展示内容の充実	展示スペースの充実
3 青山剛昌ふるさと館の魅力向上に関する提案	施設機能、情報発信の充実			情報発信の充実	施設の変容性、イベント・情報発信の充実	施設の変容性、福祉機能の充実	運営ノウハウの所持、スタッフの質向上、企画内容・情報発信の充実	インバウンド対応・情報発信・企画内容の充実	利用者（人・車）の安全確保、館外施設の活用	来館者情報の収集・分析・活用、福祉機能・情報発信の充実	
4 地域振興策、町民参加を促進する取組みの提案 ①青山剛昌ふるさと館を活用した地域振興策のご提案をお聞かせください。 ②町民参画を促進する仕組みのご提案をお聞かせください。	地域イベントの開催、地元団体との連携	体験型イベントのPR、地域住民との交流		参加型イベントの開催・地元団体との連携	地元企業・周辺施設との連携、定期イベントの開催	地元企業・学生・障がい者との連携		鳥取県との連携、まちあるき/サイクリングイベントの開催	地域イベントの開催、地元向け情報発信の充実	周遊促進・地元イベントとの連携	
5 初期投資の意向 ①青山剛昌ふるさと館再整備にあたり、初期投資される意向はありますか？ ②初期投資される場合、その範囲と必要な期間をお聞かせください。		整備内容による1年程度必要	意向あり 長期契約が必要	意向あり 業務範囲による（柔軟な対応可）	意向なし	必要があれば検討 発注方法・業務範囲による	意向なし 発注方法による	発注方法・業務範囲による			検討可能 最低1年程度
6 整備・運営方式への意見・提案	一部民間活用が望ましい	町営	町営・民営どちらでも 費用負担は町が望ましい	公設民営が望ましい	一部民間活用が望ましい 公民連携の場合はリスク 分担必要	指定管理	著作権管理元の意向重視	民間活用が望ましい	町主体が望ましい	民間活用が望ましいが、 住民理解と協力が必要	民間活用が望ましい または町営+業務委託
7 管理・運営料の目安、管理・運営期間の目安、収益の還元 ①青山剛昌ふるさと館の管理・運営を行うにあたり、町が支払う管理・運営料はどの程度が妥当か、また最初の管理・運営期間はどの程度が妥当かお聞かせください。 ②青山剛昌ふるさと館経営により、収益が出た場合の町への還元方法についてのご意向をお聞かせください。	現状回答不可		収支計画次第で相談可能 意向なし	現状回答不可 運営期間は10～15年程度 魅力向上のための設備投資が望ましい		現状回答不可	条件による 指定管理や業務委託の場合 3～5年程度	現状回答不可	複数年契約が望ましい		管理運営料は現状回答不可 （最初は）15～20年以上程度が望ましい 利益は事業者収入として見込める形が望ましい
8 応募しやすい条件等	実績重視		リース契約	参加資格制限が限定されない	参加資格制限が限定されない	指定管理	一定の規模感 自治体からの強い要望	指定管理			参加資格制限が限定されない 企画提案内容の優劣
9 その他		現施設の活用 駐車スペースの確保必要		町がすべきことは町が行う等の効果的で適切な役割分担のもと、官民連携パートナーシップを発揮することが重要	子どもが楽しめる機能の充実、施設の名称変更の検討		鳥取県立美術館・水木しげる記念館との連携			カーボンニュートラル（脱炭素社会）に取り組む施策として、再生可能エネルギーを活用した自家消費型やZEBによる検討	関係事業者の著作権への理解

※空欄部分については、起業ノウハウ保護の内容の場合があります。

## ◎事業手法について（参考）

事業手法	資金調達	建設/設計	運営/ 維持管理	施設の所有		メリット	デメリット
				運営中	事業終了後		
町直営方式	公共	公共	公共	公共	公共	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>町の方針が直接運営に反映できる</b></li> <li>・役場内部や他の公共施設、施策と連携が図りやすい</li> <li>・運営実績、監修実績がある</li> <li>・事業の安定性、継続性を担保しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの質の確保の限界（ノウハウが限られる）</li> <li>・人材の確保育成</li> <li>・コスト意識の低下</li> <li>・行政特有の規則等による柔軟性の確保</li> <li>・スピード感に欠けたサービスの実行</li> </ul>
指定管理方式	公共	公共	民間	公共	公共	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>民間手法を用いた事業の展開とサービスの質の向上</b></li> <li>・民間手法による事業の効率化</li> <li>・運営費等のコスト削減</li> <li>・民間による人材の確保、育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町直営と比較して、町の意向が反映しにくい。</li> <li>・監修サイドとの調整不安</li> <li>・町直営と比較してサービスが劣る可能性あり</li> <li>・再度直営を選択することが困難</li> </ul>
リース方式	民間	民間	公共/民間	民間	公共/民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>建設費等を民間が資金調達</b></li> <li>・延べ払いにより財政負担の平準化が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の選定・公募の準備に時間と費用を要する</li> <li>・国や県の補助金の活用が不可</li> </ul>
PFI方式	DBO方式	公共	民間	民間	公共	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>民間手法を用いた事業の展開とサービスの質の向上</b></li> <li>・民間手法による事業の効率化</li> <li>・運営費等のコスト削減</li> <li>・民間による人材の確保、育成</li> <li>・国の補助金の活用可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町直営と比較して、町の意向が反映しにくい。</li> <li>・監修サイドとの調整不安</li> <li>・町直営と比較してサービスが劣る可能性あり</li> <li>・事業者の選定・公募の準備に時間と費用を要する</li> </ul>
	BTO方式	民間	民間	民間	公共	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>民間手法を用いた事業の展開とサービスの質の向上</b></li> <li>・民間手法による事業の効率化</li> <li>・運営費等のコスト削減</li> <li>・民間による人材の確保、育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町直営と比較して、町の意向が反映しにくい。</li> <li>・監修サイドとの調整不安</li> <li>・町直営と比較してサービスが劣る可能性あり</li> <li>・事業者の選定・公募の準備に時間と費用を要する</li> </ul>
	BOT方式	民間	民間	民間	民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間による資金調達</li> <li>・国の補助金の活用可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町直営と比較して、町の意向が反映しにくい。</li> <li>・監修サイドとの調整不安</li> <li>・町直営と比較してサービスが劣る可能性あり</li> <li>・事業者の選定・公募の準備に時間と費用を要する</li> </ul>
	BOO方式	民間	民間	民間	民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間 (解体・撤去)</li> <li>・国の補助金の活用可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町直営と比較して、町の意向が反映しにくい。</li> <li>・監修サイドとの調整不安</li> <li>・町直営と比較してサービスが劣る可能性あり</li> <li>・事業者の選定・公募の準備に時間と費用を要する</li> </ul>



※町道の正式名称は以下の通り

試験場線…自動車運転免許試験場線

西園試験場線…西園運転免許試験場線

## 新ふるさと館の目指す方向性

- 基本構想時に策定された新ふるさと館のコンセプト

「名探偵コナンに会えるまち 北栄町」のシンボルとして、  
地域住民はもちろんのこと、北栄町を訪れるファンや観光客にも愛される  
持続可能な施設を目指すとともに、  
マンガ・アニメ文化の発展と情報発信を担う場を創造する。

- ふるさと館再整備で目指す、4つの達成ポイント

### POINT①

ふるさと館来館者の  
満足度 UP

### POINT②

青山作品～マンガ文化の  
発展と情報発信

### POINT③

地元住民が日常利用できる  
機能と場所の提供

### POINT④

北栄町内事業者の  
増加



## 新ふるさと館の機能ポジション設定①【基本方針】



本施設の中核となる方針は「観光機能」であり、町を代表する観光資産として多岐にわたる経済波及効果や町内活性化の呼び水となることで「地域への還元」を図る。更に本施設の計画地全体が「広場・公園」的に、町民にも日常利用されるランドスケープを検討。また文化的な機能として、教育等への「マンガ活用」も行う。

# 新ふるさと館の機能ポジション設定②【具体的な構成要素】

オレンジ色部分 を青山剛昌ふるさと館の構成要素と想定

より観光的なエンターテイメント施設要素

より公的な文化施設要素

商業的な成功…  
観光・経済波及効果、来町動機…

社会への還元、文化貢献…  
市民へ開かれている、未来の為の投資…

北栄町観光産業の基点となり  
町の象徴かつ愛される施設となるには  
双方の要素を取り入れることが必須

テクノロジーを活用した  
新しい表現、コンテンツ  
(メディア芸術の可能性模索)

ミュージアム要素  
(博物館、美術館)

美術 (アート) 鑑賞をする空間の提供

※高い集客力のあるミュージアムの多くが  
単なる作品展示のみならず魅力的かつ  
唯一無二の要素を「プラスオン」している  
(日本庭園、砂像、陶板等…)

テーマパーク、  
遊園地…

エンターテイメント要素

青山作品とその世界観を楽しむ  
コンテンツや空間の提供  
(大衆文化としてのマンガ)

マンガ原画展示

マンガ原画を  
アート (美術) として鑑賞

原画等の  
適切な収蔵と  
アーカイブ作業

研究・資料館要素

学芸員 (研究員)  
人材確保

グッズショップ

カフェ  
レストラン

ライブラリー要素

マンガ作品を  
実際に読める

適切な施設機能と  
人材確保

収蔵品は青山先生作品関連のみ。  
(他作家の収蔵は想定しない)

広場・公園機能、ランドスケープ  
(無料で誰でも利用できるエリア)

地元民も日常利用できる「地域に開かれ、愛される施設」として重要な機能かつ、  
「施設としての唯一無二の魅力」を創出可能な  
高いポテンシャルを持つ機能の為、建物と連動し緻密に検討すべきである

(1) 施設整備面 (ハード部分)

資料5-2

エリア	必要な機能	基本構想内容	協議内容	高	中	低
展示エリア	常設展示室	青山先生関連の展示、世界観に触れられる内容、貴重な原画展示、体験型アトラクション等		●		
	企画展示室	青山作品に関連する企画展示等に活用		●		
	体験型アトラクション	作品の世界観を体験できるエリア	常設展示室内に整備すればスペース不要？	●		
	シアタールーム	青山作品の映像コンテンツの上映	常設展示室内に整備すればスペース不要？ 映像化における著作権範囲のハードル			●
	読書ルーム	関連書籍を読むことに適した空間	廊下や共有スペースの一部活用でも可 図書館に関連書籍の読書スペースあり			●
収蔵エリア	閉架収蔵スペース	長期間にわたって収蔵が可能な広さを持つ収蔵前室や収蔵庫等		●		
	開架収蔵スペース	一連のアーカイブ作業をガラス越しに来館者が自由に見学できる特設スペース	アーカイブ作業を映像展示等にすることでスペース不要？（収蔵内容について協議中。現在の収蔵物+αの量であれば収蔵量が少なく、閉鎖期間が長くなる可能性あり）			●
コミュニケーションエリア	カフェ・レストラン	全ての人が気軽に休憩・食事できるスペース	館外であれば自由度が高い（館内不要）		●	
	グッズショップ	作品・先生に関する商品の生産・販売	館外であれば自由度が高い（館内不要）		●	
	キッズルーム			●		
	授乳室			●		
	おむつ交換スペース			●		
	多目的ルーム	子どものクールダウンやワークショップ等の様々な用途に使用できる	共有可能？		●	
教育普及エリア		マンガに関する学習講座、体験教室		●		
館外設備	野外広場	来館者・地域住民の憩いの場、イベント開催、避難場所	館外施設のため費用面との調整要	●		
	駐車場	小型車、大型車、ハートフル駐車場、大型バス		●		
共有・管理事務所エリア	エレベーター等のバリアフリー	安心・安全に利用できる施設づくり		●		
	展示、音声ガイド、ピクトグラム			●		
	事務室	運営や維持管理		●		
	応接室		会議室で対応が可能であればスペース不要？		●	
	会議室		教育普及エリア（多目的ルーム）と共有可能？		●	
	職員用休憩室	働く職員にとって快適な環境づくり		●		
	救護室	体調不良者やけが人対応を想定		●		
	備蓄倉庫	災害時を想定	近隣施設に備蓄倉庫が整備されているため、必要度低（道の駅大栄、大栄環境改善センター、大栄体育館など） なお、大栄環境改善センター・大栄体育館は避難所としても指定されている ※施設予定地はハザードマップ対象外			●
	トイレ（多目的含む）			●		
	トイレ（キッズ用）			●		

(2) 施設整備面 (ソフト部分)

分野	必要な機能	基本構想内容	協議内容	高	中	低
教育普及	学習講座	マンガコンテンツの重要性や文化財的価値の理解を深める	既に外部団体（マンガ寺子屋）がマンガの描き方講座などを実施			●
	体験教室 (ワークショップ)			●		
	参加型プログラム	家族で楽しめる機会の提供を想定	今後の運用による			●
	移動ふるさと館	国内外での出展や県下各地の学校公民館でのマンガ・アニメ文化に関するレクチャー	今後の運用による			●
インバウンド対応	多言語表記	最低限のサービス		●		
	多言語対応スタッフ	スタッフの接客強化		●		
	海外向けSNS等	積極的な訪日前の集客と情報発信	今後の運用による			●
人材	学芸員 (キュレーター)	持続可能な施設づくりのための専門的人材の配置と育成		●		
	学芸員 (アーキビスト)			●		
	グリーティングスタッフ		頻度少。必要時の採用（委託）でも対応可		●	
地域・住民・近郊施設との連携・協働	地域住民の集いの場の提供			●		
	マンガ関係文化施設、観光文化施設との連携	類似施設との連携・ノウハウ共有、イベントや効果的な情報発信		●		
	町内施設・店舗との連携	町内周遊の促進		●		
	交通機関等との連携	県内の周遊促進		●		
	地域人材の採用、ボランティアスタッフ育成		今後の運用による			●
調査研究	収集資料の活用	調査研究整理		●		
	各種データベースの作成	展示・企画運営に展開		●		